

# 物理学専攻大学院説明会

2018年1月16日(火)

前期課程主任 田口 真

1. 入試(筆記試験免除制度)
2. 大学院科目早期履修制度
3. 学費(初年度納付金)
4. 修士論文作成までのロードマップ
5. 奨学金・奨励金等
6. 医学物理学副専攻
7. 連携大学院
8. 大学院内部進学の特典

# 1. 入試(筆記試験免除制度)(履修要項P.87)

## ■筆記試験免除制度(学内者のみ)

申請書交付:2018年4月6日(金)～、学部事務3課窓口または理学部HPからDL

出願:5月4日(金)～5月10日(木)消印有効

面接:5月26日(土)

認定結果発表:6月8日(金)

## ■夏季入試

出願:6月18日(月)～6月21日(木)(筆記試験免除認定者も!)

筆記試験(物理、英語)・口頭試問(筆記試験免除認定者も!):7月15日(日)

合格発表:7月20日(金)

## ■春季入試

出願:1月、筆記試験(物理、英語)・口頭試問:2月中旬

# 1. 入試(筆記試験免除制度)(履修要項P.87)

筆記試験免除申請の資格: 専門必修科目GPAの値が2.50以上の者。ただし、在学学期が8学期を超えて在学している者を除く。休学した学期は在学学期に含まない。

専門必修科目GPA: 学科目表において3年次までに配当されている専門必修科目について、

$$\frac{S\text{の総単位数} \times 4 + A\text{の総単位数} \times 3 + B\text{の総端子数} \times 2 + C\text{の総単位数} \times 1}{3\text{年次までの専門必修科目の総単位数}(54\text{単位})}$$

3年次までの専門必修科目の総単位数(54単位)

の値を小数点第3位で四捨五入し小数点第2位まで表示した値とする。

自分で成績表をもとに計算すること。例年1~2名GPAの計算が間違っていることがあるのでよく見直すこと。

申請期間(4月初旬に理学部掲示板にて発表)に注意すること。

## 2. 大学院科目早期履修制度(履修要項P.28)

対象者:卒業研究を履修中または修得済みの者

対象科目:「〇〇講究」との併合科目

申請期間:春学期3月19日(月)~30日(金)、秋学期8月23日(木)~9月6日(木)

申請用紙提出先:教務事務センター

履修者発表:春学期4月3日(火)、秋学期9月12日(水)

申請書には卒研指導教員もしくは学科長の印鑑が必要。

本学博士課程前期課程に進学した場合、早期履修した単位を修了要件単位に算入することができる。申請手続きが必要。

早期履修する科目数の目安は各学期3科目以下。

「〇〇講究」として履修すると学部必修科目の卒業要件単位に数えられる。

早期履修申請しないで大学院科目を履修すると随意科目となるので注意。

### 3. 学費(初年度納付金)

立教大学(2018年度)

943,500円(実験系・内部進学者)

1,055,500円(実験系・一般)

903,500円(理論系・内部進学者)

1,015,500円(理論系・一般)

(参考)東京工業大学(2018年度)

817,800円

## 4. 修士論文作成までのロードマップ

M1 4月初旬:研究室配属決定(実際は入試時)

M1 4月初旬:正・副指導教員の決定

M2 6月頃:修士論文中間発表会(ポスター発表)

M2 1月下旬:修士論文概要提出

M2 2月中旬:修士論文提出

M2 2月中旬:修士論文最終試験

## 5. 奨学金・奨励金等

### ■日本学生支援機構奨学金(第一種(無利息)、第二種(利息付))

第一種:成績優秀者は修了時に返還免除あり(全額、半額)

第一種、第二種:予約採用あり。

### ■学会発表奨励金:

国内学会年度内2回まで(首都圏:10,000円、首都圏以外:30,000円)

海外学会年度内1回まで(50,000円)

### ■院生補助費:約13,000円/年

### ■ティーチングアシスタント(TA)

MTA給与 51,000円/コマ/半期、だいたいひとり年間2コマ

### ■リサーチアシスタント(RA)

後期課程、年間約90万円

## 5. 奨学金・奨励金等

■立教大学給与奨学金(30万円)

■理学部創立30周年記念奨学金

論文審査:30万円、20万円、10万円

■理学部創立50周年記念大学院学生海外活動助成金

1件15万円、研究科で年間16名、前期課程で1回

■立教SFR(大学院研究):1件50万円、研究費として使える



## 6. 医学物理学副専攻

### 医学物理士

- がん治療などの放射線診療の場において、医師と対等の立場のパートナーとして関わる医学物理の専門家
- 高い臨床能力と同時に、放射線物理学などについての高い学識と研究能力が必要

## 6. 医学物理学副専攻

本学大学院理学研究科に在学し、医学物理学を学修することを強く希望する者に対し、所定の要件を満たした場合「医学物理学副専攻」修了の認定を行う制度。

さらに、所定の要件を満たし、将来医学物理士を希望する者が、推薦認定試験に合格した場合に順天堂大学大学院医学研究科(博士課程)へ推薦する。

■対象者：理学研究科前期課程または後期課程在学者

■募集人数：若干名

■順天堂大学への推薦制度：

医学物理学副専攻に登録し、指定科目から所定の単位を修得(当該年度修得見込みを含む)した登録者に対して口頭試問(9月中旬)を行う。

なお、順天堂大学大学院医学研究科放射線治療学への推薦は、推薦認定試験に合格した年度の翌年度の入学に対してのみ有効。

# 7. 連携大学院

## ■理化学研究所

### 医学物理学関係

## ■国立がん研究センター

## ■聖路加国際病院

## ■放射線医学総合研究所

## 8. 大学院内部進学の特典

- 研究テーマの継続性
- 研究指導の継続性
- 生活・研究環境の継続性
- 大学院科目の早期履修制度
- 入学金が半額